

デュアルDisplayPortポート付き2ポート KVMスイッチ - 4K 60Hz

SV231DPDDUA2



*実際の製品は写真と異なる場合があります。

FR: Guide de l'utilisateur - fr.startech.com

DE: Bedienungsanleitung - de.startech.com

ES: Guía del usuario - es.startech.com

NL: Gebruiksaanwijzing - nl.startech.com

PT: Guia do usuário - pt.startech.com

IT: Guida per l'uso - it.startech.com

本製品の最新情報、技術仕様、サポートについては、
www.StarTech.com/SV231DPDDUA2 をご覧ください。

FCC準拠ステートメント

本製品はFCC規則/パート15のBクラスデジタルデバイスに対する制限を遵守しているかを確認する試験にて、その準拠が証明されています。これらの制限は、住居環境に設置された場合に有害な干渉から合理的に保護するために設計されています。本製品は無線周波数エネルギーを発生、使用、放出し、指示に従って取り付けられ、使用されなかった場合は、無線通信に有害な干渉を与える可能性があります。一方、特定の取り付け状況では、干渉が起きないという保証を致しかねます。本製品がラジオやテレビ電波の受信に有害な干渉を発生する場合(干渉の有無は、製品の電源を一度切り、改めて電源を入れることで確認できます)、次のいずれかまたは複数の方法を試すことにより、干渉を是正することをお勧めします:

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を変える。
- 製品と受信アンテナの距離を離す。
- 受信アンテナが接続されているコンセントとは異なる回路を使うコンセントに本製品を接続する。
- 販売店が実績のあるラジオ/テレビ技術者に問い合わせる。

商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルの使用

本書は第三者企業の商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルをウェブサイト上で使用する場合がありますが、これらは一切StarTech.comとは関係がありません。これらの使用は、お客様に製品内容を説明する目的でのみ行われており、StarTech.comによる当該製品やサービスの保証や、これら第三者企業による本書に記載される商品への保証を意味するものではありません。本書で直接的に肯定する表現があったとしても、StarTech.comは、本書で使用されるすべての商標、登録商標、サービスマーク、その他法律で保護される名称やシンボルは、それぞれの所有者に帰属することをここに認めます。

目次

はじめに	1
製品図	1
パッケージの内容	2
動作環境	2
KVMスイッチのセットアップ	3
コンソールとKVMスイッチの接続	3
コンピューターとKVMスイッチの接続	3
ドライバについて	4
KVMスイッチの操作	4
LEDインジケーターについて	4
ポートの選択	4
ホットキーコマンドを使う	4
ホットキーコマンドを有効または無効にする	5
コンピューターの選択	5
独立オーディオ切替を有効/無効にする	5
別のホットキーコマンド	5
トラブルシューティング	6
ワイヤレスマウスとキーボードが動作しない	6
ゲーミング/コンビネーション マウスとキーボードが動作しない	6
使用しているディスプレイまたはビデオ出力先がDisplayPortとは異なるタイプのビデオコネクタを使用している	6
キーボードをスイッチに接続すると入力動作が継続する	7
マウスがモニタ間を正常に移動しない	7

技術サポート	8
保証に関する情報.....	8

はじめに

SV231DPDDUA2を使用すれば、DisplayPort™ 1.2対応のコンピューター2台を制御し、接続したコンピューター間でUSB 2.0対応周辺機器を共有できます。

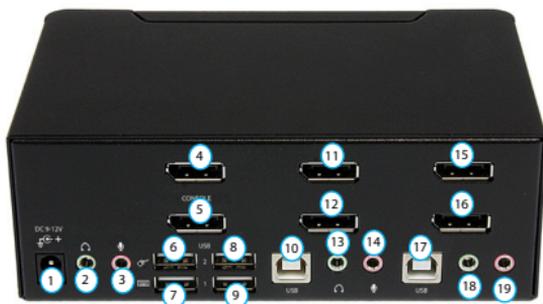
DisplayPort 1.2対応モニタを接続すると、SV231DPDDUA2は60Hzで4Kに対応します。本2ポートデュアルモニタKVMスイッチには、3.5 mmオーディオスピーカーとマイクポート、および接続コンピューターを素早く切り替える選択ボタンが搭載されています。SV231DPDDUA2はホットキーコマンドにも対応しています。

製品図

フロントビュー



バックビュー



- | | | |
|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 1 - 電源入力ポート | 8 - USBハブポート | 15 - PC1 DisplayPortポート |
| 2 - コンソールオーディオポート | 9 - USBハブポート | 16 - PC1 DisplayPortポート |
| 3 - コンソールマイクポート | 10 - PC2 USBポート | 17 - PC1 USBポート |
| 4 - コンソールDisplayPortポート | 11 - PC2 DisplayPortポート | 18 - PC1オーディオポート |
| 5 - コンソールDisplayPortポート | 12 - PC2 DisplayPortポート | 19 - PC1マイクポート |
| 6 - コンソールUSBマウスポート | 13 - PC2オーディオポート | |
| 7 - コンソールUSBキーボードポート | 14 - PC2マイクポート | |

パッケージの内容

- 1 x KVMスイッチ
- 1 x ユニバーサル電源アダプタ (北米/EU/UK/オーストラリア・ニュージーランド規格対応)
- 4 x ゴムパッド
- 1 x ユーザマニュアル

動作環境

- DisplayPort 1.2対応ディスプレイデバイス (例: モニタ、TVなど)
- DisplayPort 1.2対応コンピューターシステムとビデオカード
- USB対応コンピューターシステム
- 標準型104キーUSB有線キーボード
- 標準型USB有線マウス
- 3.5mmミニジャック マイクロフォンおよび/またはスピーカーまたはヘッドセット (オプション)

注意:本KVMスイッチはDisplayPort 1.2までに対応しています。ただし、最大解像度を実現するには、DisplayPort 1.2に対応したディスプレイデバイスとコンピューターシステムを使用する必要があります。

本KVMスイッチの最大解像度は60Hzで4Kです。最大解像度を得るには、お使いのモニタとコンピューターが60 Hz - 4Kに対応している必要があります。

システム要件は変更される場合があります。最新のシステム要件は、www.StarTech.com/SV231DPDDUA2 でご確認ください。

KVMスイッチのセットアップ

コンソールとKVMスイッチの接続

1. コンピューターおよび当該コンピューターに接続しているデバイスや周辺機器 (例: プリンタ、外付けHDDなど) の電源を切ります。
2. モニタを**コンソールDisplayPort**ポートに接続します。
3. 必要なら、2台目のモニタを2つ目の**コンソールDisplayPort**ポートに接続します。
4. USBマウスをKVMスイッチの**コンソールUSBマウス**ポートに接続します。
5. USBキーボードを**コンソールUSBキーボード**ポートに接続します。
6. 必要に応じて、以下の手順を実行します。
 - ・スピーカーまたはヘッドセットを**コンソールオーディオ**ポートに接続します。
 - ・マイクを**コンソールDisplayPort**ポートに接続します。

コンピューターとKVMスイッチの接続

KVMスイッチには1台または2台のコンピューターを接続できます。

1. KVMスイッチに接続したいコンピューターとそのコンピューターに接続されているデバイスや周辺機器 (例: プリンタ、外付けHDDなど) の電源を切ります。
2. オス-オスDisplayPortケーブルをコンピューターのDisplayPortポートと**PC1 DisplayPort**ポートに接続します。
3. オス-オスUSB A-BケーブルをコンピューターのUSBポートと**PC1 USB**ポートに接続します。
4. オーディオを使用する場合は、オーディオケーブルのセットをコンピューターのスピーカーポートと**PC 1オーディオ**ポートに接続します。
5. オーディオを使用する場合は、マイクをコンピューターのマイクポートと**PC 1マイク**ポートに接続します。
6. 2台目のコンピューターを接続するには、手順1~5を繰り返し、**PC2接続**を使用します。
7. ユニバーサル電源アダプタを壁コンセントと**電源入力**ポートに接続します。
8. コンピューターに接続しているデバイスや周辺機器の電源を入れます。コンピューターが完全にロードするまで待ち、接続したコンピューターのキーボードとマウスの動作をテストします。
9. 2台目のコンピューターをKVMスイッチに接続している場合は、**Select (選択) ボタン**を押して2台目のコンピューターにフォーカスを移し、手順8を繰り返します。

これで、接続したコンピューターを切り替えられるようになります。KVMスイッチに問題が発生した場合は、「トラブルシューティング」のセクションをご覧ください。

ドライバについて

キーボードとマウスはUSB技術に対応しているオペレーティングシステムに既にインストールされている汎用USBドライバを使用しているため、本KVMスイッチにドライバをインストールする必要はありません。

KVMスイッチの操作

LEDインジケーターについて

KVMスイッチ前面にLEDインジケーターが3つあります。LEDインジケーターの詳しい動作情報については、下記の表をご覧ください。

LED	動作	意味
コンピューター1 LED	LEDが赤色に点灯している	コンピューター選択済み
	LEDが緑色に点灯している	コンピューター接続済み
コンピューター2 LED	LEDが赤色に点灯している	コンピューター選択済み
	LEDが緑色に点灯している	コンピューター接続済み

ポートの選択

- 接続したコンピューター間を切り替えるには、KVMスイッチ前面の**Select (選択)** ボタンを押します。

選択したコンピューターのLEDが赤色に点灯します。

ホットキーコマンドを使う

Windows®またはLinux®のバージョンを実行しているコンピュータを使用している場合、ホットキーコマンドを使用してKVMスイッチを操作することができます。ホットキーコマンドはすべて**左Ctrl**キーを2回押してから、1つか2つほかのキーを押します。

コマンドを正しく入力するとKVMスイッチから高いピーブ音が鳴ります。コマンドが間違っていると低いピーブ音が鳴ります。間違ったホットキーコマンドはコンピューターには送信されません。

ホットキーコマンドを使用するには、使用しているキーボードを**コンソールUSBキーボード**ポートに接続する必要があります。

注意:ホットキーコマンドは、Mac OSオペレーティングシステムではサポートされていません。

ホットキーコマンドを有効または無効にする

デフォルトでは、ホットキーコマンドはKVMスイッチで有効になっています。

- ホットキーコマンドを無効にするには、**左Shift**キーを押し下げたまま**Num Lock**キーを2回押します。**左Shift**キーを放してから、**左Ctrl**キーを押します。
- ホットキーコマンドを有効にするには、**左Shift**キーを押し下げたまま**Num Lock**キーを2回押します。**左Shift**キーを放してから、**左Ctrl**キーを押します。

コンピューターの選択

コンピューターを選択するには、**左Ctrl**キーを2回押してから、選択したいPCポートの番号を押します。

例えば、コンピューター2を選択するには、**左Ctrl**、**左Ctrl**、**2**を押します。

注意:上記ホットキーコマンドを入力する際、キーボード右側のキーパッドは使用しないでください。

独立オーディオ切替を有効/無効にする

デフォルトでは、KVMスイッチの独立オーディオ切替は無効になっています。つまり、オーディオの選択は、選択したコンピューターによって決まります。たとえば、コンピューター1を選択してからコンピューター2に切り替えると、オーディオ選択はコンピューター2に変わります。

独立オーディオ切替を有効にして、現在選択されているコンピューターからオーディオ選択を独立させることができます。たとえば、コンピューター1を選択してからコンピューター2に切り替えても、オーディオ選択は変更するまでコンピューター1のままになります。

- 独立オーディオ切替を有効にするには、聴きたいオーディオが保存されているコンピューターで、**左Ctrl**、**左Ctrl**、**F5**を押します。
- 独立オーディオ切替を無効にするには、**左Ctrl**、**左Ctrl**、**F5**を押します。

KVMスイッチが1回鳴ると、独立オーディオ切替が有効になりましたという意味で、ピープ音が2回鳴ると、独立オーディオ切替が無効になったことを意味します。

別のホットキーコマンド

コンピューターを選択するには、**左Ctrl**ホットキーコマンドのほかに、2つのコマンドがあります。

- **Scroll Lock**、**Scroll Lock**、選択したいPCポートの番号を押します。
- **左Shift**キーを押し下げたまま**Num Lock**キーを2回押します。**左Shift**キーを放してから、選択したいPCポートの番号を押します。

注意:上記ホットキーコマンドを入力する際、キーボード右側のキーパッドは使用しないでください。

トラブルシューティング

本KVMスイッチとPCを使用していて問題が発生した場合は、以下のようにコンピューターのBIOS設定を変更してみてください。

1. **HALT ON ERROR (エラーで作業を中断する)**を**ALL BUT KEYBOARD (キーボードを除くすべて)**に設定します。
2. **PNP AND PCI SETUP (PNPとPCIのセットアップ)**で、以下の内容を実行してください。
 - ・ **PNP OS INSTALLED (PNP OSインストール済み)** を**YES (はい)**に設定します。
 - ・ **USB IRQをENABLED (有効)**に設定します。

ワイヤレスマウスとキーボードが動作しない

一部のワイヤレスマウスとキーボードはKVMスイッチで動作しますが、一般的にほとんどのワイヤレスマウスとキーボードはKVMスイッチをサポートしていません。セットアップでワイヤレスマウスとキーボードを使用していて、KVMスイッチで問題が発生している場合は、次の手順を実行してください。

- ・ ワイヤレスマウスとキーボードのトランスミッタを**コンソールUSBマウスポート**と**コンソールUSBキーボードポート**から外し、KVMスイッチの**USBハブポート**の1つに移して接続します。

注意: ワイヤレスキーボードのトランスミッタがUSBハブポートの1つに接続されている場合、ホットキーコマンドは機能しません。

それでも問題が解決しない場合は、ワイヤレスマウスとキーボードを有線のマウスとキーボードに交換してください。

ゲーミング/コンビネーションマウスとキーボードが動作しない

ゲーム用のマウスとキーボード、そしてコンビネーションのマウスとキーボードは、3ボタンマウスと104キーキーボードより多くのボタンと機能を備えています。ほとんどのKVMスイッチは追加のキー機能をサポートしておらず、セットアップで使用するとKVMスイッチの性能に影響を与える可能性があります。そのため、StarTech.comでは、標準の3ボタン有線マウスと104キー有線キーボードをセットアップで使用することを推奨しています。

使用しているディスプレイまたはビデオ出力先がDisplayPortとは異なるタイプのビデオコネクタを使用している

セットアップのディスプレイまたはビデオの出力先にDisplayPortとは異なる種類のビデオコネクタが使用されている場合は、コンバータを使用して出力の種類を変更できます。利用可能な異なる種類のコンバータの詳細については、

www.StarTech.com をご覧ください。

キーボードをスイッチに接続すると入力動作が継続する

問題を解決するため、次の解決策を試してください。

- キーボードがKVMスイッチの**USBキーボードポート**のいずれかに差し込まれている場合は、それを外して**USBハブポート**のいずれかに差し込んでください。

注意:キーボードがUSBハブポートに接続されている場合、ホットキーコマンドは使用できません。

- Windows OSのバージョンを実行している場合は、**Control Panel (コントロールパネル)**でキーボード設定に移動し、表示までの待ち時間と表示の間隔を調節して、キーを押し続けても入力が繰り返されないようにします。

マウスがモニタ間を正常に移動しない

Windows OSのバージョンを使用している場合は、マウスをモニタ間で適切に移動させるにはWindowsのモニタを並べ替えてセットアップ中のモニタの物理的な位置と一致させる必要があります。

1. **Control Panel (コントロールパネル)**で、表示設定に移動します
2. オペレーティングシステムでのモニタの順序を確認するには、**Identify (識別)**をクリックします。
3. オペレーティングシステムでの順序がモニタの物理的な順序と一致するまで、**モニタのアイコン**をクリックしてドラッグします。
4. **OK**をクリックして設定内容を適用し、画面を閉じます。

技術サポート

StarTech.comの永久無料技術サポートは、当社が業界屈指のソリューションを提供するという企業理念において不可欠な部分を構成しています。お使いの製品についてヘルプが必要な場合は、www.startech.com/support までアクセスしてください。当社では、お客様をサポートするためにオンライン工具、マニュアル、ダウンロード可能資料をご用意しています。

ドライバやソフトウェアに関する最新情報は www.startech.com/downloads でご確認ください

保証に関する情報

本製品は2年間保証が付いています。

StarTech.comは、資材や製造工程での欠陥に起因する商品を、新品購入日から、記載されている期間保証します。この期間中、これら商品は修理のために返品されるか、当社の裁量にて相当品と交換いたします。保証で適用されるのは、部品代と人件費のみです。StarTech.comは商品の誤用、乱雑な取り扱い、改造、その他通常の摩耗や破損に起因する欠陥や損傷に対して保証いたしかねます。

責任制限

StarTech.com Ltd. やStarTech.com USA LLP (またはその役員、幹部、従業員、または代理人) は、商品の使用に起因または関連するいかなる損害 (直接的、間接的、特別、懲罰的、偶発的、派生的、その他を問わず)、利益損失、事業機会損失、金銭的損失に対し、当該商品に対して支払われた金額を超えた一切の責任を負いかねます。一部の州では、偶発的または派生的損害に対する免責または限定的保証を認めていません。これらの法律が適用される場合は、本書に記載される責任制限や免責規定が適用されない場合があります。

StarTech.com

Hard-to-find made easy®

見つけにくい製品が簡単に見つかります。StarTech.comでは、これが企業理念です。それは、お客様へのお約束です。

StarTech.comは、お客様が必要とするあらゆる接続用パーツを取り揃えたワンストップショップです。最新技術からレガシー製品、そしてこれらの新旧デバイスを一緒に使うためのあらゆるパーツ。当社はおお客様のソリューションを接続するパーツを見つけるお手伝いをしています。

当社はお客様が必要なパーツを見つけるのを助け、世界中どこでも素早く配送します。当社の技術アドバイザーまでご連絡いただくか、当社のウェブサイトまでアクセスしていただくだけで、お客様が必要としている製品をすぐに提示します。

StarTech.comが提供しているすべての製品に関する詳細な情報は www.startech.com までアクセスでご確認ください。ウェブサイトだけの便利な工具をお使いいただけます。

StarTech.comは接続や技術パーツのISO 9001認証メーカーです。StarTech.comは1985年に創立し、米国、カナダ、イギリス、台湾に拠点を構え、世界中の市場でサービスを提供しています。